

133 討論会彙報

〔『法学新報』第一一一号 明治三十三年六月二十日〕

○討論会彙報

前号の紙上に紹介したる後は学期試験の間近になりたるためか各法律学校に於ける討論会の評判も頗に其の声を収めたり唯た明治法律学校にては去月二十六日午後七時左の問題に付て討論審議を行へるのみ流石は我法学院の好敵手と謂ふ可きか

甲、乙二人共謀し丙家に強盗に入るの目的を以て各自持凶器甲者先づ家中に侵入したるに会々家主の抵抗に遇ひ戦て家主を

殺す乙者次に入り其意外の出来事に驚き逃送せり乙者の処分如何

我東京法学院討論会は去ぬる二十七日第六回を開き懸賞にて刑法問題を議し其の劈頭に於て一先つ休会し来学期を俟て第七回を開くことに決せり（法学院生徒某報）